

# 平成 28 年度決算の概要

## 1. 総括

急速な少子高齢化の進展に伴い、労働力人口が減少する一方、社会保障費の増加傾向が継続する状況において、公共施設をはじめ様々な社会資本の老朽化に対応しなければならないなど、地方財政を取り巻く状況は依然として厳しい状況が続いており、地方自治体には、簡素で効率的な行財政システムを構築するなど、質の高い行政サービスを効率的・効果的に提供することが求められている。

このような状況の中、本市においては、「水と緑と人が輝く共創都市たてばやし」を将来のまちの姿とする第五次総合計画後期基本計画の初年度として、財政の健全性に留意しつつ、経済の活性化に係る事業、少子化対策に係る事業、元気な高齢者づくりに係る事業を重点項目に掲げ、市民生活の向上に取り組むとともに、「安心して生活ができるまちづくり」を実現するために様々な施策を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計 26,782,156 千円、国民健康保険特別会計 9,746,222 千円、下水道事業特別会計 1,687,914 千円、農業集落排水事業特別会計 47,478 千円、介護保険特別会計 5,728,981 千円、後期高齢者医療特別会計 792,368 千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列挙すると、次のとおりである。

### (1) 主な新規事業

#### ア 地域子育て支援拠点事業

総合福祉センター内に地域子育て支援センターを開設した。

#### イ 放課後児童クラブ施設整備事業

第三小学校区に放課後児童クラブ施設を整備した。

#### ウ 「つつじサミット 2016 in 館林」の開催

つつじで地域活性化を行っている自治体や団体との交流を深めるとともに、つつじが岡公園のつつじの歴史的文化的価値、その魅力について広く発信した。

#### エ 中央通り線道路改良事業

平成 28 年度から群馬県が整備を進めており、事前調査として現況測量調査等の費用を負担した。

オ 小学校施設整備事業

第五小学校管理・教室棟トイレ改修工事、第二小学校屋内運動場大規模改修工事設計を実施した。

カ 中学校施設整備事業

第三中学校普通教室棟東側トイレ改修工事、第二中学校柔剣道場大規模改修工事設計を実施した。

(2) 主な継続事業

ア 金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付したほか、10%のプレミアム付館林市金券を発行し、一層の消費喚起及び地域経済の活性化を図った。

イ 幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から19か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事34.5mを実施した。

ウ 西部一号線道路改良事業

平成22年度から8か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は県事業負担金として、県発注工事等の費用を負担した。

エ 東部環状線改良事業（市道3363号線）

平成21年度から9か年継続事業として整備を進めているが、本年度は道路改良工事840m等を実施した。

オ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和61年度から33か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部一号線舗装工事を193.8m、2戸2棟の建物移転等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から37か年継続事業として整備を進めているが、本年度は駅西通り線舗装工事を214.7m、1戸1棟の建物移転等を実施した。

・西部第二地区

平成11年度から26か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事を787.7m、4戸5棟の建物移転等を実施した。

カ 公共下水道整備事業

昭和44年度から整備を進めているが、本年度は管きよ整備として污水管1,701.1m、雨水きよ40.9mの布設、処理場整備として、施設工事委託を実施した。